

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の郷

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動・学習等使用用途に合わせて区切られている	利用人数が13名以上の利用となる場合、室内の使い方を分けるなどしている
	2	職員の配置数は適切であるか	配置数は適切であり、利用者人数によって職員の配置数を増減している	個別対応が必要な利用者が多い時には、職員配置に気を付けながら職員間での声かけなど行っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	室内は段差のない設計となっており、トイレには手摺り車椅子対応ができる	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	ミーティングにてPDCAを行い職員間で共有している	内容などの確認、また職員で利用者に合わせて改善が出来るよう内容にも変化をもたせる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	評価結果を職員間で開示し気を付けること、良かったところを共通理解している	保護者の意見を受け、環境を整えることや支援を提供していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページにて公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者からの評価を受けホームページに公開している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	社内研修の受講また、社内メールにて研修案内が配信されている	積極的に参加できる勤務体制等を作っていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者の希望・相談を受けまた、子どもの様子などを職員間で共有し作成している	利用者とその家族に寄り添った支援計画を作成していく
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	日常生活動作表を利用したり、言葉がけ変換表を使用している	今後新たなアセスメントツールを導入していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	月間さらに日々において職員間で共通理解しながら行っている	成功体験が増えるよう継続した活動の計画を行う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	少しずつ発展させたり、前回の反省を反映させて変化をあたえている	子どもの状況に沿い、個々に合った支援につなげていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日の短時間の活動と休日などの長時間の活動で分けて立案している	社会資源を利用した活動が制限されることが多いが色々な体験をすることで、良い支援につなげていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	状況に合わせて、個別・集団活動を組み職員間でモニタリングを行い作成している	子どもが安心して行えるように、毎日の状況把握を職員間で行っていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援の準備段階、また朝礼などで内容や役割分担を確認している	個々に合った支援の仕方を職員間で話し合うことや、記録に残していくことで共有していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	日々個人記録として残し、また振り返りをおこなっている	記録に残すことで、全職員で共通理解をおこなう
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	職員間で記録・読み合わせを行い検証・改善につなげている	検証することで職員間での共通理解を深めまた個々に合った支援につなげていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	ミーティングでモニタリングを行い個々の状況を共有し見直ししている	見直しを行い、次の段階の支援につなげていく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	ガイドラインに基づいて活動内容に組み合わせている	ガイドラインを見直しを行い、再度認識を高め引き続き支援をしていく	

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	職員からの意見を受け、児童発達管理責任者が参加している	会議の内容を職員と共有し支援に繋げる
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校の年間・月間行事予定で下校時間の情報共有や、送迎時や電話等にて連絡調整を行っている	今までと同様に各学校との連携を行い、子どもの状況把握に努める
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	受け入れはしていない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有が必要な場合に保育園に連絡を行い可能な場合に実施している	連絡を取りやすい連携体制を作っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	事業所から移行後は、相談などがあつた際には、事業所に連絡をしている。	今の段階では該当者がいない為行っていないが、今後移行などがある場合には、情報を提供していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要な場合には連絡を取り、問い合わせを行い、研修案内を頂き受講している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナ禍により交流を行っていない	コロナ収束後には活動に取り入れていきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	市で行われている児童部会に参加している（4回/年）	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳やメール、電話連絡また送迎時に共通理解の場を持っている	カフェなどでお話する機会でも増やしていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	コロナ禍により行っていない	リモートなど今後の課題となる
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に保護者に対して行っている	内容変更があつた場合など再度説明を行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	家庭への訪問、または電話などで対応している	保護者との連絡を行い、また関係機関との連携も行いながら支援につなげていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	人同士の接触を避けるために郷カフェを中止している	今はコロナにより開催が遠のいてしまっているため今後の開催方法を検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	状況確認や保護者からの聞き取りなど理解していただける対応と、場合により上司への報告も行う	各連携機関との情報共有を行っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1回/月のかわらばんの発行や毎日ブログを更新して発信している	会社としてのかわら版に加え、事業所の新聞の定期的な発行を再開していく
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報に関しては鍵付きの書庫にて管理者の責任のもと行っている	連絡に必要な場合は、社内メールの活用またFAXなどにおいては番号登録を行い誤送信をなくす
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	メールやライン配信などの通信方法で文字化または直接お話しさせていただき説明に努めている	保護者向けライン配信への登録依頼をかけていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	人同士の接触を避けるために中止している	コロナにより開催が難しくなる状況下のため検討が必要となってくる
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	県・市からの通達文書また指導の下作成している	保護者へは変更等にもない周知方法を見直していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に何回か避難訓練・防犯訓練を行い、全職員の救急訓練を受講している	災害の発生に備え、職員間の共通理解を再度行っていく

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内での研修を全職員対象として行っている	毎月の職員行動のチェックリストを記入することで振り返り適切な対応を行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束が必要な場合には保護者に対して説明また書面にて同意を頂き、計画に記載するようにしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時にアレルギーの有無の確認し、保護者より医師の指示方法を受け(診断書の提出等)対応している	成長の段階で体調の変化等、保護者との共有をアセスメントなどで行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	日々の支援において事例の記入とミーティングなどで全職員で共有している	事例集より個別詳細の作成とグラフなどでの分析を引き続き行っていく

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年9月

事業所名

放課後等デイサービス虹の郷

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	6	50%	50%
	2 職員の配置数は適切であるか	3	3	6	50%	50%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	6	83%	17%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	6	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	6	83%	17%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	6	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	6	83%	17%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	6	83%	17%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	6	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	6	83%	17%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	6	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	6	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	6	83%	17%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	6	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	6	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	6	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	6	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	6	83%	17%
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	2	5	60%	40%	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	6	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	6	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	6	0%	100%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	6	83%	17%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	6	50%	50%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	6	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	6	33%	67%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	6	67%	33%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	6	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	5	60%	40%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	6	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	6	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	6	33%	67%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	6	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	6	83%	17%
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	6	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	6	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	6	33%	67%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	6	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	6	83%	17%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	6	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	6	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	6	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	6	83%	17%